



760人が参加したITフェア

コンピュータ沖縄
〈沖縄県うるま市〉

地域総合

賑わったITフェア

25社協賛、2日で760人

【那覇】コンピュータ沖縄(沖縄県うるま市州崎7-17、名護英雄社長)が開催した「コンピュータ沖縄ITフェア2008」が大規模、セミナー内容ともに盛況だった。前年は1日だけの開催だったが、2日間



名護 社長

人が参加し、情報収集に熱心だった。

県内最大のITイベント
県内では、ITに特化したイベントの開催は少ない。

「単独企業が主催する地域の信頼度が高まっている」と実感している。出展者、来場者からの評判は高く、来年はさらに質の高い内容を目指す。

に増やした今回は、前年実績比2.5倍以上の760人が来場。出展者、来場者ともに満足度の高いイベントとして成長している。

「業務改善にグリーンITとセキュリティ」をメインテーマにし那覇市の沖縄産業支援センターで開催した。協賛メーカーは前回の15社から25社に増やし、出展規模、セミナー内容ともに大幅に拡充した。20テーマの無料セミナーには400人が参加し、情報収集に熱心だった。

協賛企業(50音順)
アドビシステムズ、アラードテレシス、エプソン販売、エレコム、構造システム、ジェイアール四国コミュニケーションウェア、ユニックス・システムズ、トリックス・システムズ、ジャパン・ジャストシステム、スカイ、住商情報システム、ソフトバンクBB、ダイワボウ情報システム、ダイリンクジャパン、データルーツ、トリニティ、セキュリティシステムズ、トレンドマイクロ、日本IBM、NEC、パナソニック電インフォメーションシステムズ、ピー・シー・イー、広島県教科用図書販売、プリンストン・テクノロジ、マイクロソフト、丸紅インフォテック、LSI ジャパン、TCBテクノロジーズ。

名護社長は「ハードからソフトまで省エネとセキュリティに話題のメーカーを集め、先端技術を取りそろえた。変化の激しいITインフラを企業経営に生かす参考になれば」と開催の狙いを語る。同社はかつて、IT関連イベントを毎年開催していたが、25周年を迎えた07年に久しぶりに復活開催。予想以上の300人が来場し、地域のニーズの高さを実感した。